

番号	9-1	名称	靖国神社本殿	
指定日	平成 15 年 6 月 9 日		所在地	九段北三丁目 1 番 1 号
設計者	伊藤平左衛門		竣工	明治 5 年 (1872)



歴史・文化的特徴

靖国神社は明治 2 年 (1869)、国内外での戦争などで戦没した軍人などを祀るための神社として創建された。初めは東京招魂社と呼ばれたが、明治 12 年 (1879) に靖国神社と改称された。

本殿は神霊が鎮まるところで、昭和 61 年(1986)から 3 年をかけて修築が施され、平成元年 (1989) に竣工した。

意匠・構造の特徴

伊勢神宮と同じ系譜の神明造で明治 5 年 (1872) に建てられ、昭和 61 年 (1986) から 3 年をかけて解体修理が施され、平成元年 (1989) に昔の姿のままに建て替えられた。

向拝 (ごはい=正面の庇) を葺き下ろした形の神明造は非常に珍しい。

周辺景観との関係

北の丸公園と外濠を結び、都心に貴重な緑環境と静寂なパブリックスペースを提供している。

境内には約 400 本の桜があり、ソメイヨシノは気象庁が東京の桜の開花宣言をする際の基準木となっている。